



茨城県議会議員

後援会 会報●NO・2

西条昌良

1 9 9 3
News

■折り返しを迎えて



西条昌良

新年あけましておめでとうございます。皆様、ご家族おそろいで、すがすがしいお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私も県議会議員として三年目を元気で迎えることができ、毎日一生懸命活動が続けております。すでに折り返しの二年が経過しましたが、この間いろいろな経験や勉強をさせて頂きました。

昨年の第二回定例会県議会において、一年に引き続いて一般質問の機会を得まして、今年、本県において開催される第十回全国都市緑化いばらきフェアに合わせた緑化の推進をはじめ漁業、道路、医療、教育行政など各般に亘って質問をいたしました。

また、農林水産委員、予算特別委員として県内調査、県外視察に参加し本県の発展と県民福祉のための方策について勉強して参りました。

まだまだ皆様方に育てて頂かなければならない私であります。これからも初心を忘れず、皆様方の意見や要望がだちに県政に反映されるよう、尚一層の努力、精進をして参る所存であります。

今後とも、旧に倍するご指導、ご支援を切にお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

写真でみる 議員活動 (抜粋)



県議会予算特別委員会県外視察
佐世保市ハウステンボス前にて



鹿島港多目的クレーン竣工式

第44回全国都道府県議会議員
軟式野球大会（山形県）
8月21日～8月24日



豪快なタイムリー2塁打をかつとばし
優勝の原動力に



35年ぶり念願の優勝



農林水産委員として視察（機甲にて）



茨城県連青年局長として、自由民主党青年
局ヨーロッパ海外研修
に参加



予想以上にひどいヒョウ被害。速やかな対応を県に要請。



神栖植樹祭（日川浜）



■西条昌良県議会議員に期待する



茨城県知事
竹内 藤男

新年あめでとうございます。皆様にはお健やかにお正月を迎えられたこととお喜び申し上げます。

西条昌良先生は、平成二年十二月の県議会議員選挙で初当選以来、県議会でもさまざまな活躍をされております。

平成四年第三回定例会議では、平成二年に続き一般質問に立たれ、地域振興の観点から土地利用への対応や、道路政策、水産業、医療、教育、そして全国都市緑化いばらきフェア開催を契機とした緑化の推進などについて、有意義な質問を展開されました。

また、企画企業委員会に続き、農林水産委員会の委員として、勉強の成果を生かし、並々ならぬ活躍をされています。

現在、県では、二十一世紀のリーディング県をめざして、各種施策を積極的に推進しております。

このような時にあつて、若さあふれ、行動力のある西条先生への期待は、誠に大きなものがあります。

西条先生のなお一層のご活躍と後援会の益々のご発展を祈念し、ご挨拶いたします。

■活躍を期待します



茨城県議会議長
鈴木 正義

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え、皆様のますますの御健勝、御多幸を心よりお祈り申し上げます。

西条昌良さんには、現在、農林水産委員会に所属し活躍されておりますが、先の定例会におきましては、鹿島地域の振興のため、交通体系の整備や医療体制の充実に向けた積極的な提言をされておりました。また、昨年の山形県における国民体育大会協賛全国都道府県議会議員野球大会の際には、持ち前の積極性を生かし、本県チームの優勝に大きく貢献されるなど、まさに文武両道、その活躍ぶりには目を見張るものがあり、明日の茨城を担うにふさわしい人材であると確信をしております。

西条さんには今後ますますの御活躍を期待すると共に、皆様方には西条さんへのさらなる御支援をお願いいたしまして、挨拶いたします。

■おめでとう



岩上 妙子

皆様には、益々お元氣にお過ごしのこととおよろこび申し上げます。

西条昌良も、県会議員としての任期前半を、健康に恵まれ、ひたすら県議の仕事に邁進することができましたのは、皆様の暖かいご支援のたまものと心から感謝申し上げます。

平成四年九月県議会におきましては、九月十七日の一般質問に、県議二年目で二回目の質問に立ちましたが、一回目よりも更に進歩が見られ、日頃のためめ努力と、その成長ぶりに、いささか安堵致しました。何分にも鹿島は、亡き岩上一郎が、全情熱を燃やし続け、その執念の残る地でありますだけに、何となく西条昌良には、主人の遺志の後継者としての責任を果して貰わなければなりません。

しかし、西条昌良は、まだまだ経験が浅く若輩ですので、今後、尚一層の皆様の厳しいご指導、ご叱正が必要でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

西条昌良に私が望むことは、政治倫理の問われている今日、内には初心を忘れず、人生は常に自分との闘いであることを肝に銘じ、外には持ち前の明るさとさわやかさを失わず、高い理想を求めて、皆様の期待にお応えできるよう、さらに研鑽を積んで欲しいということです。

皆様の御健勝を切にお祈り申し上げます。

■ごつ、ご健闘



波崎町議会議長
安藤 武博

希望に満ちた新年を迎えるに際し、西条昌良後援会、会報第三号が発刊されますことを心からお慶び申し上げますと共に、会員の皆様のご健勝とご活躍を切にお祈り致します。

さて、西条県議における二年間の県議生活の歩みでございますが、私など地方自治に席を置く者にとつて心強く感じられることが随所に見られ、嬉しく思う次第であります。

その一つには、新橋の建設促進、第二には新漁港の整備促進、第三には利根川沿岸の有料道路建設の提案（県内六十構想の一つ）、その他にも波崎町が難題として抱えております土地改良事業の問題、また全県に幅広くまたがる、地域に根ざした土地利用の対応、医療機関の拡充、教育問題、都市緑化を推進するための政策、鹿島北浜地区にできる栽培漁業センターなど、地域と県当局とのパイプ役に積極的な活動をなされており、頭の下がる思いがいたします。

県議会議場におきましては一回目の一般質問を行い、その内容においても新人議員とは思えない成果を上げておりますことは誠に一同慶びに耐えません。

今後、初心を忘れることなく県政全般、特に我が波崎町発展のため健康に留意され、ご尽力賜りますようお願い申し上げますと共に、更なるご健闘を祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

西条昌良県議気迫の登壇

第三回茨城県議会一般質問で

第三回定例県議会本会議の一般質問に県議二年目にして二度目の登壇。

①全国都市緑化いばらきフェア開催を契機とした緑化の推進

②医療機関の拡充

③教育問題

④鹿島地区の北浜地区にできる栽培漁業センター

⑤二十一世紀を迎えるのに新しい道路政策

⑥地域に根ざした土地利用

の八項目について質問、市立銚子高校の応援団長で培った気迫と、西条県議ならではの論客ぶりを発揮した。



傍聴席で見詰める200人をうわまわる地元支援者



自民党県議（55名）いる中で2年目ながら2度目の登壇。地元支援者が見守る中熱弁をふるう。質問中「その通り」「いいぞ」の声援を送られ「ありがとうございます」と余裕を見せていた。

●緑化推進について

▼西条県議 明年全国都市緑化いばらきフェアの開催を機に県独自の街路緑化の推進と緑化基金制度を創設してはどうか。

◆竹内知事 緑化フェアを契機に県としては具体的な植栽計画を立て地域の特性にあった樹種の選定や管理面等を考慮した街路の緑化を進めて参りたい。

また緑化基金制度の創設についても検討して参りたい。

●医療行政について

鹿島労災病院へ小児科・産婦人科を看護婦養成機関の設置も

▼西条県議 鹿島労災病院内に産婦人科、小児科を設置し総合病院化しては、この地元住民の声が強いが県当局ではどのように考えているか。高齢化社会を迎え、心温まるケアシステムをつくるためにも医療圏ごとに看護婦養成機関を整備する必要がある。また鹿行地区にも同様の機関を整備する必要がある。また鹿行地区に看護婦養成機関の設置を望むものであるが県の考えを伺いたい。

◆西本至衛生部長 産婦人科、小児科を加えての総合病院化については、地域における今後の出産数の動向や既存の医療機関の意向等を踏まえ、地元医師会や関係者の理解を得ながら検討していく必要があるかと思われまふ。看護婦養成機関については、各医療機関の看護婦充足状況等をみながら適正な配置に努めて参りたいと考えております。

す。

また、神栖町の白十字病院内に、正看の養成機関として来年四月の開設を目指していま準備を進めているところであります。



●教育問題について

教育研修センターの設置

▼西条県議 学校五日制の導入による学力低下等について児童、生徒の家庭では最も心配しているが土曜休日の過ごし方について県教委はどのような対応を考えているか。本年友部町にオープンした教育研修センターのような施設を鹿行地区に設置する考えはないか。

◆門田芳夫教育長 週五日制による学力低下につきましては、各学校に於て学校行事や指導内容、方針等により学習効果を高めるよう指導しております。研修センターについては、身近な地域の研修の場を確保しながら教職員の研修を進めて参ります。

教職員の適正配置についても地域の現状を見きわめた上で対処して参りたいと考えております。

■茨城・千葉県議

利根川流域振興研究会
県境を越え、課題話し合う

利根川を挟み、茨城、千葉の両県は昔から交流の盛んな地域であります。この度、内野、西条両議員の働きかけにより、利根川下流域の経済振興を図るための研究会が発足しました。茨城県の鹿島港、千葉県の成田空港は、日本の海と空とを代表する国際港であり、この地域への期待はかなり高いものがあり、私共、両県の議員は一步踏み込んだ研究会を年二回程度開催するなど、地域の代表者として積極的な提言と、具体的な行動を示すなど、今後の活躍が期待される。なお、事務局長に西条昌良県議が就任した。

茨城・千葉県議利根川流域振興研究会



●構成メンバー

茨城県側
内野成作県議（鹿島郡）
細谷武男県議（稲敷郡）
香取 衛県議（行方郡）
西条昌良県議（鹿島郡）
千葉県側
安藤 勇県議（鎌子市）
椎名一保県議（鎌子市）
林 幹雄県議（香取郡）
伊藤和男県議（佐原市）

●栽培漁業センターについて 人工島の波及効果と漁業に 与える影響

▼西条農林 鹿島北浜地区に設置される栽培漁業センターについて伺いたい。イワシ漁業が不振を続けている現状のもとで漁業関係者は新しく設置されるセンターに大きな関心を寄せている。沖合人工島の造成等による鹿島瀬沼域への影響等と合わせ、栽培センターの設置、運営についてどのように考えているか。

◆松丸勝二 農林水産部長 新しい栽培漁業センターは沿岸漁業の重要魚介類である、ヒラメ、アワビ、蛤等の生産放流など魚介類の種苗生産拠点としての機能を持たせるほか、海産部路の造成や保

護水面の管理なども進めて参りたいと考えております。また潮流の変化等についても天然の海域を想定した模型実験の調査を委託しており、調査の結果をまづ、対処して参りたいと考えております。

●道路政策のあり方について

▼西条農林 二十一世紀の東太平洋時代を迎え開発の可能性を持つている大洗から波崎に至る鹿島瀬の沿岸について国道五二号線、二二四号線と一体化し、二二四号線については鹿島港横断架橋の構想についても考える時が来ていると思うが、東関東自動車道の湖来インターと波崎町を結ぶ有料道路の建設が必要と思われるが県の考えを伺いたい。

◆都丸達二 土木部長 国道一四五号線の勝田から東沼村の間については、本年四車線を整備中であり、大洗から波崎に至る道路ならびに湖来インターと波崎を結ぶ有料道路については、長期的な課題として検討して参りたいと考えております。鹿島港横断架橋については、今年度改定を予定しております鹿島港計画に位置づけるべく検討を進めているところであります。



●土地利用の調整について
▼西条農林 昨年国有林野資産処分に関する国の実施方針が示された。市街化調整地区で農地などの土地利用の調整が問題となっている。線引きの見直し、市街化調整区域の開発行為、農振地域や保安林との調整問題等については県は今後どのように取り組む考えなのか。

◆小林義文 企画部長 土地利用の調整に当たっては、市町村構想や県民福祉基本計画が実現できるように各法律間の調整や関係省庁との折衝に努力して参りたい。土地利用については、市内関係各課による協議機関により総合的な調整、審査を行っているが、更に適正な土地利用ができるよう努力して参りたいと考えております。

後援会 活・動・報・告

神栖後援会

青年部発足

神栖青年部長 谷川政行

昨年は、西条昌民神栖後援会・青年部の発足に当たり、関係各位の多大なるご尽力を頂き、誠にありがとうございました。おかげさまで持ちまして盛会のうちに終了することが出来ました。

青年部も新年を迎え、組織の拡大と充実を図るべく、各種の行事、催し物などを企画し、実りある年にしたいと考えております。

つきましては、皆様のご理解ご支援を承りますよう、お願い致します。



青年部部長 谷川政行



挨拶する西条県議

《グリーンクラブ》あなたも参加してみませんか？

誰もが豊かで充実した生活を過ごしたいと望んでいます。そのためには、物質的な豊かさを求めるのももちろんのこと、それ以上に豊かな人間関係のゆとり、そして充実した余暇活動が大切だと考えます。私達は、スポーツ・レクリエーション活動を通じて、豊かな人間関係を育み、コミュニケーションづくりを目指して「グリーンクラブ」を結成いたしました。



春季波崎町ソフトボール大会にて

- ★ソフトバレーボール大会
 - ★ソフトボール大会
 - ★マラソンソフトボール大会
 - ★地引き綱・バーベキュー大会
 - ★さつせ祭り
 - ★青年市への出店
 - ★ふれあいイカダレース（優勝）
 - ★波崎漁業祭りの出店
 - ★町民綱引き大会
- 入会希望の方は後援会事務局まで、お問い合わせ下さい。電話〇四七九（四四）五〇四四



グリーンクラブのメンバーと地引き綱を楽しむ

CLEAN CLUB



ふれあいイカダレースに参加して見事に優勝



近岸清掃後のバーベキュー大会



鹿島沖合人工島構想イメージ

❖西条県議

波崎商業まつりに
県より助成金を！

地元商店の活性化と、地域の人々のふれあいを目的として、第一回波崎商業まつりが、去る八月三十日に波崎新漁港で盛大に行われ、おおぜいの人々が一日を楽しくすごした。この商業まつりの経費は約一千三百万円ときいているが、その内七百万円は、西条県議が県に働きかけて、県より助成金が交付された。



後援会の皆様と
フラワーパーク見学



シーコ選手と一緒に

鹿島地域の活力ある街づくりの記録として地域が一体となった「フロッサカチーム」鹿島アントラーズを創ります。

あ
と
が
き

県政、そして鹿島郡の発展のため、ますます全力投球する西条県議に対し、今後とも皆様の卒直なご意見をお寄せいただき、幅広いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。